

単 独

設 計 図 書  
(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2025 年度施行

新港地区船揚場レール附属物取替工事

---

網走市



特 記 仕 様 書

## 特記仕様書

- 20 一般事項  
01 適用  
01 共通仕様書
- 当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。
- 02 土木工事積算基準等
- 1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。
    - (1) 一般土木工事  
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」
    - (2) 漁港工事  
「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
    - (3) 下水道工事  
「土木工事積算要領（下水道編）」、「土木工事積算基準」、「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
  - 2 「土木工事積算基準」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。
    - (1) 機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。
    - (2) 特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。
    - (3) 上記（１）（２）については、受注者の任意施工を拘束するものではない。  
ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。
  - 3 「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き」及び「下水道工事工種体系化の手引き」において定めている事項を、設計図書の規格・摘要欄に明示しているが現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。
  - 4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。
    - (1) 一般土木工事  
「土木工事数量算出要領」
    - (2) 漁港工事  
「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
    - (3) 下水道工事  
「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

## 特記仕様書

- 16 CALS/EC（率に含まれる場合）
- 1 電子納品
- （１）当該工事は電子納品対象とする。電子納品にあたっては、網走市電子納品の手引き（案）【工事編】（以下、「手引き【工事編】」という）に基づき、工事監督員と協議の上、電子化の範囲を決定しなければならない。これにより難しい場合には、協議の上、従来の納品とする。
- （２）工事完成図書は、手引き【工事編】に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R又はDVD-R）で1部と製本1冊を提出する。  
なお、手引き【工事編】の解釈に疑義がある場合は、担当員と協議の上、電子化の是非を決定するものとする。
- （３）工事完成図書の提出にあたっては、電子成果品事前チェックシート等による確認や目視による確認を行い、ウイルス対策を実施した上で提出するものとする。
- 21 工程関係
- 02 他工事の影響
- 06 指定部分の工期
- 工事施工開始時期については、利用者と協議の上確定する。  
※現状では10月中施工予定と協議済み。
- 27 建設副産物・廃棄物関係
- 05 副産物・廃棄物の処理条件
- 04 北海道循環資源利用促進税（以下「循環税」という。）について
- 1 当該工事で発生する産業廃棄物が道内の最終処分場に直接搬入される場合、または中間処理場に搬入する場合で、減量化・リサイクル等により残さ等が発生し、最終処分場に搬入された場合においても、循環税が課税されるので適正に支払うこと。
- 2 当該工事では循環税相当額を見込んでいます。
- 30 その他
- 18 その他
- 01 設計図書に明示のない取扱い
- 設計図書に定めのない事象が生じた場合は、工事監督員と別途協議をすることとし、必要に応じて設計変更を行う。